

(質問) 大阪市では、児童・生徒一人ひとりに応じた学習を一層充実させ、基礎・基本の徹底と学ぶ意欲を高めることを目的として、平成16年度から小・中学校に、習熟度別少人数授業を導入し、全校実施に向け取り組んでいます。小学校では、5・6年の国語・算数について、中学校では、2・3年の国語・数学・英語について実施しています。このことについては、様々な考え方がありますが、カードウェル小学校としては習熟度別授業にどのような評価を行っているのでしょうか。

(回答) 自分に合う学習ができ、「分かるようになった」「できた」という児童の満足感や自信につながっています。また、勉強が楽しいという子どもが増えました。教員にとってもきめ細やかな指導ができるようになったようです。保護者からも、学校の取り組みに対して評価や期待の声が寄せられており、生徒・教員・保護者とも肯定的な声が多いように思います。習熟度別少人数授業の取り組みを進めることにより、「やればできる」との自信は、すべての学習によい影響をもたらしています。

(質問) カードウェル小学校では、子どもセンターを運営するなど様々な取り組みを行っているようですが、学校を運営する経費について問題はないのですか。

(回答) 公立小学校の場合、政府から与えられる教育予算は子ども1人あたり年間約50万円で、優良校に指定されると予算が加算されます。また、学校の運営にあたっては、地域振興基金(Neighborhood Renewal Fund)から援助を受けるとともに、グリニッチ区や他の教育機関からも人的・財政的援助を受けています。警察や医療機関にも多大な協力をしてもらっています。ちなみに、各教員の雇い主は学校で、学校ごとに採用されます。ロンドンの小学校では教員が同じ学校で教え続けるケースが一般的です。

## ロンドン市議会

午前11時、ロンドン市議会を訪問し、マーク・デメリー渉外担当部長から市議会と予算審議についての次のような説明を受けた後、議場を見学しました。



ロンドン市議会議場（議会事務局から提供いただいた2月13日の本会議の様子）

#### ◆概要

ロンドン市は、直接選挙により選出されるロンドン市議会(London Authority)とロンドン市長(Mayor of London)から構成されている。

G L Aはその本体であるロンドン市議会とロンドン市長のほか、首都警察(Metropolitan Police Authority)、ロンドン消防・危機管理局(London Fire and Emergency Planning Authority)、ロンドン交通局(Transport of London)、ロンドン開発公社(London Development Agency)の4機関から成っている。

ロンドン市議会議員の選挙は、4年に1度実施される。議員定数は25。ロンドンの区域を14に分割した選挙区から1名ずつ選出される小選挙区議員と政党ごとの得票率により選出される11名の比例代表議員からなる。

現在の政党別勢力分布は次のとおり。

労働党(与党)	7
自由民主党	5
保守党(議長が所属)	9
独立党	2
緑の党	2

ロンドン市議会議員の給与年額は、58,200ポンド(議長は67,500ポンド)。ちなみに、市長は57,900ポンド。

副市長は、ロンドン市長により、ロンドン市議会議員の中から毎年任命される。

本会議のほかに、予算委員会、環境委員会、交通委員会など11の常設委員会が設置されており、必要に応じて、特定の事項について調査・審議を行う特別委員会が設置される。

議会事務局は、秘書部門と議員支援部門に分かれており、議会のサポートを行っている。

秘書部門は、議会運営全般、本会議や委員会の運営、広報を所管し、議員支援部門では、1議員につき調査員1名、秘書1名があてがわれ、党派ごとに広報担当官が置かれている。これらに要する経費は、ロンドン市議会に配分される予算の4%とされている。

#### ◆予算について

市長は、ロンドン市議会に予算案を提出し、ロンドン市議会は毎年2月末日までに予算案を審議し、議決しなければならない。ロンドン市議会は予算案に対して、3分の2以上の賛成により修正をすることができる。この予算には、G L A本体の予算だけでなく4つの機関の予算も含まれている。G L A全体予算の半分以上は中央政府からの補助金により賄われる。地方税はそのごく一部を賄う。予算案には、市民の税金負担額も明記されている。G L Aは、みずからは徴税事務を行わず、各行政区に対して徴税を依頼している。徴税を依頼された行政区は各住民に対しその分を上乗せして税金を徴収することになる。最近3年間の予算の推移は次のとおりである。

GLAグループの歳出予算額の推移（単位：100万ポンド）

	2006/07	2007/08	2008/09
首都警察	3, 267	3, 310	3, 511
ロンドン消防・危機管理局	431	443	453
ロンドン交通局	5, 393	6, 397	6, 821
GLA	130	154	162
ロンドン開発公社	423	418	407
合計	9, 644	10, 722	11, 354

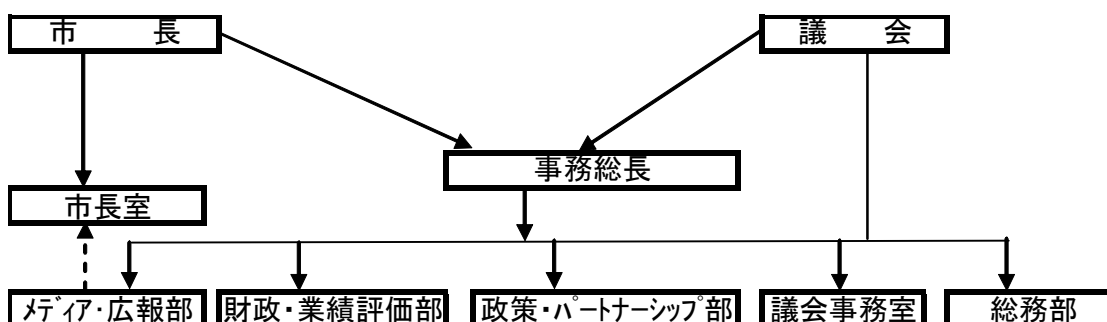
私がロンドン市議会を訪問した2月13日には、ちょうど新年度予算案を審議する定例市議会本会議が開かれていました。市長が予算案のプレゼンテーションを行った後、修正動議が野党議員から提出されました。ここで市長は退席し、25人の議員が修正案についての討論を始めました。理事者も不在です。各議員の討論は自席で立って行っていました。持ち時間は5分間。タイムキーパーが時間を厳格に管理していました。賛否は挙手で行われます。

個人のパソコンを持ち込むことも可能です。各議員の机にはPCが設置されており、討議の状況が映し出されていました。他のデータを閲覧している議員もいました。修正案については、結局議員の3分の2以上の賛成が得られませんでした。帰国後の2月29日に原案が可決されたということです。

議案と議場配付資料は傍聴席にも配られており、質疑の映像は6カ月間保存されるということでした。

私がGLAで入手した資料をもとにまとめたGLAの概要とそれぞれの機関の役割を次に掲げておきます。

GLAの行政組織



市長室：市長と副市長に対する各種サポート、市長の経営補佐機能、広報

事務総長：GLAの事務部門の責任者

市長と議会に対するGLAのサポートが効果的に行われるようGLAを監督

メディア・広報部：報道機関に対するプレス対応等市長広報  
財務・業績評価部：戦略計画の財政面、業績評価面での管理  
政策・パートナーシップ部：各種戦略計画の策定・政策調査  
議会事務室：秘書機能と会派別議員支援機能  
総務部：市長と議会、職員に対するサービス提供

◆市長の権限・役割

- 1 アクションプラン（戦略計画）の策定
- 2 アクションプランの実施
- 3 予算案編成と議会への提出
- 4 ロンドン全体を代表（ロンドンの顔、スポークスマン）

◆議会の責務

- 1 市長に対する政策立案補佐
- 2 市長の予算案の承認・修正
- 3 市政に関する諸問題の検討・提案書の作成
- 4 市長の戦略・計画の監督
- 5 任命手続
- 6 警察、消防、ロンドン開発庁職員として勤務

◆GLAの責任

- 1 交通 地下鉄、バス、ドックランド新交通システム、幹線道路、ロンドンタクシーの認可
- 2 経済開発 投資促進、雇用創出、地域開発
- 3 環境 大気汚染・騒音対策、廃棄物処理計画策定、地域環境計画策定、環境影響評価
- 4 都市計画 全体的枠組みの構築、開発の整合性
- 5 警察 ロンドン警察職員の一部は議員の中から市長が任命
- 6 消防 議会と行政区議員の中から職員を市長が任命
- 7 文化 観光・文化・スポーツ行政の推進、文化活動団体のトップを市長が任命
- 8 健康 市民の健康促進

午後1時にサリー・ハムウィ市議会議長と面会し、意見交換をする予定でしたが、先に述べたように市長が提案した予算案に修正動議が出され議事が延長されたため、予定の時間に面会することができませんでした。しかしながら、ハムウィ議長には休憩の合間をぬって議場から出てきていただくことができました。私から「今回は、今後の大阪市政の参考とさせていただくため、ロンドン市を訪問し、教育施策や都市再開発事業など、様々な

分野の皆様にご貴重なお話をお伺いすることになっている。これまで、大阪市会とロンドン市議会との交流はあまりなかったが、今回の訪問をきっかけとして、活発な交流が行われることを期待している。」旨お話し、平松市長からの親書を手渡しました。



ハムウィ議長表敬訪問

2月14日（木）

大英博物館（The British Museum）

午前10時の開門を待って、大英博物館に入館しました。

◆概要

規模の巨大さからは、パリのルーブル美術館、ニューヨークのメトロポリタン美術館と、またその優れたコレクションの「素晴らしさ」からは、マドリードのプラド美術館、サンクト・ペテルブルグのエルミタージュ美術館とともに、いずれの観点からも「世界三大美術館」に数えられています。



大英博物館にて

古今東西の美術品や書籍など約 700 万点が収蔵され、美術品や書籍のほかに、考古学的な遺物・標本・コインやオルゴールなどの工芸品、世界各地の民族史資料など多岐にわたります。世界中の博物館との連携による巡回展プロジェクトや、途上国の博物館への技術協力なども進められています。

大英帝国の国力を背景に、世界各地の歴史的遺産をイギリスに持ち帰ったという展示物が少なくなく、ロゼッタストーン、パルテノン神殿の彫刻群、ミイラなどはエジプト政府やギリシャ政府が返還を求めているが、保管技術等を理由に返還を拒否しているとのこと。

年間 500 万人を超える来館者の約 56%が外国人観光客といわれています。屋根付きの中庭（グレート・コート）にあるミュージアムショップは、土産物になりそうなグッズが揃ったショップでロゼッタストーンをモチーフとしたものが主力商品となっており、観光客であふれかえっていました。

大英博物館は、国家機関に準じているものの、イギリス議会に直属する管財人委員会によって運営されており、政府とは独立した組織となっています。

大英博物館の運営をめぐるには、入館料を取るべきであるという議論もあるようですが、政府の援助と入館者らによる寄付金（2 ポンド（約 430 円））により運営資金が賄われています。その豊富な収蔵品の海外への貸し出し、土産物、出版物なども大きな資金となっているようです。

面 積： 75,000 m<sup>2</sup>（歩行動線は全長 4 km）

開館時間：午前 10 時～午後 5 時 30 分、木・金のみ午前 10 時～午後 8 時 30 分

次頁に掲げている表は、私がこれまで入手した資料をもとに、サンクト・ペテルブルグで視察したエルミタージュ美術館、大英博物館について、大阪市立美術館の規模等と比較を行ったものです。

	大阪市立美術館 Osaka Municipal Museum of Art	エルミタージュ美術館 The State Hermitage	大英博物館 British Museum
開設年	1936年(昭和11年)	1764年	1753年 (一般公開は1759年)
歴史	1920年(大正9年):大阪市会議決(貴重な美術品を火災から守るため、美術館が必要) 1921年(大正10年):住友家から、美術館建設用地の寄贈 1927年(昭和2年):着工 1936年(昭和11年):開館 1946年(昭和21年):「大阪市立美術館附設美術研究所」開設(現在約200名在席) 1977~79年(昭和52~54年):展示室壁を燃えにくい素材に張替え、玄関ホールの床、階段、壁面を大理石に。大シャンデリア2基設置 1992年(平成4年):地下展覧会室(美術団体公募展用2,400㎡)増設	1764年:エカテリーナ2世がベルリン商人ゴツコウスキーのコレクション225点購入が起源 1765年:エカテリーナ2世専用の宮廷美術館として開設。フランス語で「隠れ家」を意味する「エルミタージュ」という名称もそれに由来する。 1775年:小エルミタージュ完成 1786年:エルミタージュ劇場完成 1787年:旧エルミタージュ完成 1864年:新エルミタージュ完成 1917年:一般向けに開館	ハンス・スローン卿(医者、個人収集家)が遺言で、美術品や珍しい書物8万点のコレクションを、一般人の利用に供することを指示した。管財人達はイギリス議会で働きかけ、議会はすでに国に所有されていたコットン蔵書と、売りに出されていたハーレー蔵書を合わせて収容する博物館を設立した。博物館の設立には宝くじ売上金が充てられることになる。 1753年:博物館法によって設立され、一般向けには1759年1月15日、開館した。
規模	総建築面積 4,237㎡ 延べ床面積 17,611㎡ 本館:12,726㎡ 地下展覧会室:4,885㎡ 展示室面積(本館)18室 4,280㎡	不詳 不詳 1,050室 46,000㎡	75,000㎡ 不詳 約90の展示室
運営	大阪市(ゆとりとみどり振興局)	ロシア連邦国立美術館	大英博物館管財人委員会
料金	常設展 大人 300円 高校・大学生 200円 特別展 平均1,200円 高校・大学生 1,000円 無料:中学生以下、65歳以上の市民	大人 約1,800円(350ルーブル) 無料:児童・生徒等、国際博物館会議メンバー 写真撮影代:約500円(100ルーブル) ビデオは、約1,800円	無料 ただし、2ポンド(≒430円)以上の寄付
休館日	毎週月曜日 (祝日の場合は、火曜日)	祝日(1月1,2,7日、3月8日、5月1,2,9日、6月12日、11月7日、12月12日)、月曜日	元旦、聖金曜日(復活祭の3日前)、12月24,25,26日
収蔵品	約15,000点 所蔵品:約8,000点 寄託品:約7,000点	約300万点	272,508点
入館者数	約60万人 本館 約40万人 地下 約20万人(貸し会場)	約370万人	約700万人

## キングスクロス駅周辺再開発

午後3時、ジョン・メイスン・ウォーリー氏の案内により、キングスクロス駅前再開発の開発主体でもあり、ディベロッパーでもある Argent 社を訪問し、そこで再開発の概要について同社のブリゲット氏から説明を受けました。

ジョン・メイスン・ウォーリー氏は2004年来ロンドンにおける大阪市の都市再生プロモーションに関し協力をいただいていた人物。同氏は元英国景観設計学会会長などを務めた経歴がある企業経営者であり、キングスクロス駅周辺再開発プロジェクトを担当している Argent 社の社長とも懇意なことから、今回仲介の労をとっていただくこととなった。



Argent 社からの説明

写真の背景にあるのは、かつて Fish&Coal Office と呼ばれた行政機関の事務所ですが、外観を保存したまま再利用され、文化施設として生まれ変わる予定です。

### ◆再開発の概要

キングスクロス再開発は、ロンドン中心部でもさびれたイメージのあったキングスクロス地域の活性化を目的としたもので、1990年代半ばにSRBチャレンジファンドという地域振興の国庫補助金（官民連携が補助の条件となった英国政府による補助金）を財源としてスタートしました。キングスクロス再開発は、都心部の駅前開発である点や開発面積などの点で、大阪駅前北地区（北ヤード）の再開発と非常に共通点が多いのが特徴です。（キングスクロス：27ha、大阪駅前地区24ha）

同エリアには、現在ユーロスター（ロンドン・パリ間を2時間15分、パリ・ブリュッセル間を2時間で結ぶ超高速鉄道）の終着駅であるセント・パンクラス駅やキングスクロス駅があり、ヨーロッパ大陸とマンチェスターなど英国北部の主要都市とを結ぶ英国の中核交通拠点となっています。

### セント・パンクラス駅

パリ、ブリュッセルから国際列車ユーロスターが乗り入れている。ロンドン側のターミ



ナルはテムズ川南岸のウォータールー駅であったが、2007年11月からセント・パンクラス駅がロンドン側のターミナルに変更された。

#### キングスクロス駅

スコットランドなどイギリス北東部へ向かう鉄道の終着駅。ロンドン地下鉄の主要乗換駅であるキングスクロス・セント・パンクラス駅でセント・パンクラス駅に接続している（映画ハリーポッターにも登場する駅）

#### ◆再開発地域について

面積：27ha（うち6haは鉄道用地）

場所：ロンドン中心部に位置し、キングスクロス駅とセント・パンクラス駅の間、リージェント運河の近郊

開発主体：キングスクロスパートナーシップ

L C R (London and Continental Railway)、Exel、Argent、St. George 社等で構成

ディベロッパー：Argent St George 社（Argent 社、St. George 社 50/50 の J V）

開発土地の所有企業：① L C R ユーロスターを保有・経営する企業。1996年よりドーバー海峡下を通るトンネル鉄道事業に従事。キングスクロス再開発において土地の買い上げを担当

② Exel ロンドン証券取引所上場の運送会社。キングスクロス駅近くのリージェント運河の南北に土地を所有

用途構成：業務施設

店舗・飲食施設

文化・エンターテインメント施設

教育施設

住宅

総延床面積：744,000 m<sup>2</sup>

段階計画：第1フェーズ（6ha） 2007～2010年

第2フェーズ 2009～2012年

第3フェーズ 2012～2020年

この開発により、都市機能が集積され、歩行者の動線はより一層改善され、周辺都市との新しい接続が生まれることとなります。開発の40%は公共空間です。リージェント運河に面した場所に1,900戸の新しい住宅が建設される計画で、10の新しい空間、20の新しい道路、住宅ゾーン、リージェント運河を跨ぐ3つの新しい橋、400以上の樹木が形成される予定です。

また、特徴的なこととして、グレート・ノーザン・ホテル、グラナリー・コンプレック

ス、コール・ドロップス、ガス・タンクの外枠など、20の歴史的建造物の保存があります。いくつかの住宅は、歴史的建造物であるガス・タンクの外枠の中に建設されるということです。

#### J E T R O（独立行政法人日本貿易振興機構）ロンドンセンター

午後5時、大阪市パリ事務所の高橋所長の案内でJ E T R Oロンドンセンターを訪問しました。

J E T R O（独立行政法人日本貿易振興機構）は、貿易・投資促進と開発途上国研究を通じて、日本の経済・社会のさらなる発展に貢献することを目指して、前身である日本貿易振興会を引き継いで2003年10月に設立されました。

対日投資の促進、中小企業の国際ビジネス展開支援、開発途上国との貿易取引拡大など、時代の要請に応じた事業を展開し、質の高いサービスを機動的かつ効率的に提供することを目的としています。

井上淳所長より、イギリスの最新の経済動向、産業集積状況について次のような説明を受けました。

- ・2007年第1～3四半期の対日貿易（国際収支ベース）は、輸出が8.0%減（前年同期比）の28億6,600万ポンド、輸入が1.7%減の58億9,100万ポンドで、貿易赤字は5.0%増の30億2,500万ポンドであった。
- ・主要な商品別の状況を見ると、日本からの輸入では自動車大幅に伸びたが、電気機器、通信機器、原動機、産業用機器類が減少し、日本への輸出では自動車、原動機が伸びたが、医薬品、電気機器などが減少し、輸出全体が落ち込む原因となった。
- ・2007年6月、ブレア首相が退任し、同政権で財務相を務めたブラウン氏が新首相となり、教育、住宅、保健、環境、テロ対策などを重視する政策を打ち出した。しかし、現在失業率は5.2%と低下傾向にあるものの、サブプライム・ローン問題の影響で今後は雇用環境が悪化する可能性があり、2008年はブラウン首相にとっても、イギリスにとっても正念場の一年となるだろう。
- ・英国はロンドン市に代表されるように、金融・サービスに強い国との印象があるが、実はバイオ技術、宇宙航空、製薬、IT分野等で優れた産業技術・企業が集積している。特に近年はバイオテクノロジー産業の発展が目覚しく、インキュベータ施設も充実しており、今後の有望産業でもある。

#### ◆主な産業についての説明

##### ・バイオテクノロジー・製薬産業

英国は、製薬の輸出で世界第2位、輸入で第3位の大型市場であり、バイオテクノロジー、製薬、ヘルスケア産業の拠点として世界で最も魅力的な地域のひとつ

- ・自動車産業

英国は、ロールスロイス、アストン・マーチン、ジャガーなど世界の一流ブランドの発祥地であり、エンジン設計やモータースポーツなどの分野で世界トップクラス

- ・航空宇宙産業

関連企業数は約 3,000、27 万 5,000 人を雇用し、180 億ポンドの経済規模を有する

- ・クリエイティブ産業

デザイン、ファッション、音楽、映画、ゲームといった分野で、世界的に高い評価を得ている。英国の強みを生かす産業

- ・金融サービス

世界の金融機関が集まり、ロンドン金融市場は世界最大の国際金融センターのひとつ

- ・ICT産業

ICTセクターは、110 万人を雇用し、ソフトウェア、コンピュータ、半導体等広範な分野に及ぶ



JETRO（日本貿易振興機構）ロンドンセンターにて

## 2月15日（金）

### ニューハム区

午前9時にストラットフォード駅に到着。ここへ、ニューハム区の担当者、アドリアン・メイ政策調査課長が出迎えに来てくれました。彼の案内で、ニューハム区の事務所へと移動しました。

（対応者）

グラント・アイトケン 文化部長

レオン・オサホン 地域スポーツ担当

フィオナ・ミレイ スポーツ振興課長

ティム・デイビス 生活スポーツ課長

アドリアン・メイ 政策調査課長

事務所に到着後、冒頭、私から「大阪は2008年オリンピック招致で北京に敗れたが、ロンドンでは2012年の招致にみごと成功されたことは非常に喜ばしい。大阪市でも昨年夏に世界陸上を誘致するなど、国際大会の招致に取り組むとともに、市民レベルでのスポーツ振興にも取り組んでいる。これまで、大阪市とロンドン市との関わりはあまりなかったが、今後はこれを機会に交流を促進させたい。」旨のあいさつを行いました。

グラント・アイトケン文化部長らから、ニューハム区は「スポーツ・パラダイス・ニューハム」を目指しているとのジョークの後、ニューハム区における文化、スポーツを通じたコミュニティづくり、若者の自立支援施策について、次のような説明を受けました。

#### ◆ニューハム区の特徴

ロンドンにある33の自治区(Borough)のうちのひとつ。ロンドン・イーストエンドの中心であるニューハム区は、ロンドン中心部から東に約3マイルの距離、テムズ川の北岸に位置している。同地区は、2012年のオリンピック開催予定地となっている。

イギリスの中でも最も文化的に多様でかつ若い住民が居住する地区のひとつである。人口は254,000人。その61%がアフリカ系、アジア系、ヨーロッパ系少数民族のコミュニティ出身である。100以上の言語が話されており、英語を第1言語とするのは人口の50%強に過ぎない。また、人口の42%以上は25歳未満である。ニューハム区の子どもたちの64%が低所得者層に属している。

区の失業率はかなり低下してきたが、依然イギリス平均の2倍以上である。車を保有しているのは人口の49%である。

ニューハム区はいま大胆な再生に取り組んでおり、区のビジョンは「2010年までにニューハム区を人々が住み、働く場所として選ぶ場所にすること」である。

区の約10%は緑地であり、スポーツ・レジャー施設を有する多くの公園がある。



ニューハム区事務室にて

#### ◆ニューハム区での行政課題

ニューハム区は、伝統的産業が衰退するなど、最も社会経済的に恵まれない地域のひとつであった。犯罪も多く発生し、市内至るところに犯罪抑止のための監視カメラが設置されていた。ニューハム区の課題としては、いかに犯罪率を低く抑えるか、社会的に阻害された人たち（Hard to reach Group と呼ばれているので、あえてこの表現を用いる）にも社会参加の機会を与え、いかに活力あるコミュニティづくりを行うか、ということであった。

また、ニューハム区住民の健康レベルはイギリス全体の平均と比べて低かった。2003年の調査によるとニューハムの男性の平均寿命は全国平均に比べて2.4歳、女性は1.8歳それぞれ短く、循環器系の病気による死亡率は約45%高かった。特に、社会的に恵まれないグループになるほど、スポーツに参加する人数は少なくなる傾向があった。このため、スポーツに参加する機会を広げることにより、健康へのリスクを減らし、精神面・肉体的健康増進に役立てることが喫緊の課題でもあった。

#### ◆ニューハム区の行政戦略

そこでニューハム区では、行政の重要戦略として次のような目標を掲げることにした。

- ・人々の地域社会との結びつきを強化し、社会参加を促すこと
- ・スポーツ活動などへの参加により若者の犯罪率を減少させること
- ・社会的に疎外されたグループの健康増進を図ること
- ・社会的に疎外されたグループの教育レベルを向上させること

そして、これらの目標に向けて次のような具体的な施策・地域社会に根ざしたプロジェクトに取り組んだ。

- ・26の地域で開催される文化・スポーツイベント
- ・スポーツクラブの育成
- ・すべての年齢層を対象とした近隣公園での活動
- ・図書館における読書会
- ・文化的資質向上とボランティア活動のためのプログラム（CQVB）
- ・社会的に疎外された人たちへの地域社会への参加を促すフォーラム

ニューハム区は、文化とスポーツの分野でこれまで目覚ましい成果を上げており、学習・学校プログラムを提供している。特に「Hard to reach Group」が文化・スポーツ活動に参加できるように取り組んできた。このようなグループがコミュニティの中で社会的な結束を固め、区の生活のあらゆる分野で様々な活動に参加できるようなプログラムを提供している。これらのサービスを利用している6歳から18歳までの若者のうち、71%が低所得者層の出身である。

また、ニューハム区は Cultural Qualification and Volunteering Programme（CQV

P)を提供している。このプログラムは、ニューハムの良好な教育環境にない 16 歳から 19 歳までの若者に提供されている。若者はボランティア活動に参加するとともに基本的な技術を習得することにより、自信とコミュニケーション能力を取り戻し、犯罪率の劇的な低下につながった。

2004 年 4 月には、文化・スポーツ（地域振興）基金からプログラムに必要な 720 億円を獲得したことから、学校や健康増進施設、地域コミュニティ施設を充実、雇用機会の拡大や健康増進プログラムの推進が図られた。

#### ◆現れた効果

また、2003 年と 2005 年を比較すると、何らかの地域活動団体に加入している人は 27% から 32% に増加し、区の行政施策に満足している人は 47% から 62% に増加した。ニューハムに引き続き住みたいと考えている人も 47% から 53% に増加した。

男性の平均寿命は 73.7 歳から 74.4 歳に伸長し、人口 10 万人に占める循環器系の病気で死亡する人の割合も 163 人から 152 人に減少した。

スポーツや余暇活動について満足している人は 51% から 57% に増加した。

若者の犯罪率は 14.1% から 9.5% に減少（全体の犯罪率は 0.4% 減少）し、再犯率も 36% から 25% に減少した。

#### ◆オリンピックについて

メイン会場であるオリンピックパークの 3 分の 2 のエリアはニューハム区に属する。26 のオリンピック種目のうち、18 種目はストラットフォード駅から徒歩 20 分の圏内の施設で行われる。オリンピック会場への来場者の 80% を公共交通機関で運ぶという構想のもと、10 路線の鉄道が乗り入れる予定である。ロンドン中心部とオリンピックパークを結ぶ鉄道、イーストロンドン線の延伸が計画されている。

ロンドンオリンピックで特に大きく打ち出されているのは、オリンピック開催に限定しないで、オリンピック後の施設利用を考慮して計画を行う「レガシー・プランニング」である。競技施設は、大会後解体する仮設のものや、恒久的でありながら規模を縮小できるような設計してあるものがほとんどである。メインスタジアムはオリンピック大会時には 8 万人収容となるが、大会終了後には仮設部分を撤去し一般利用に適した 2 万 5,000 人収容に縮小が可能だという。選手村も、住民のための住宅としての転用を予定している。オリンピック大規模施設を、その後いかに活用・運営していくかを提案した点が、ロンドンがオリンピックの開催地として選ばれた理由のひとつに挙げられている。

ロンドンで 2012 年に開催されるオリンピック及びパラリンピックは、ニューハムの再生を加速させ、多くの就業機会やビジネス・チャンスを提供することになった。

オリンピックは一生に一回あるかないかの大会であり、住民がスポーツや健康増進活動に参加することを促している。オリンピックが招致されたことにより、スポーツを通じて

人々の健康への関心が高まり、今では80%以上の人々がニューハムに住んでよかったと感じ、90%以上の人々がニューハムでのオリンピック開催に誇りを感じている。

このような環境下において、ニューハムでの最近の再生プログラムと将来計画は、目覚ましい進展を遂げている。人々が生活し働く場所としてはかりしれないポテンシャルを提供しているし、急速に商業と文化の中心となりつつある。北東部のストラットフォードはオリンピック開催のメインスポットであり、オリンピック終了後は公園周辺に9,000戸以上の住宅が提供される。南部テムズ川沿岸のドックランドには、ロンドン・シティ空港、ExCeL（見本市会場）、イーストロンドン大学などがある。大規模な再生は、カニング・タウンやウェストハムでも進行中である。

地域スポーツ課長から、スポーツへの参加を市民生活の中に根付かせるために大阪市ではどのような取り組みを行っているのか、との質問があったので、「大阪市では「誰もが気軽にスポーツを楽しむまちづくり」に取り組んでいます。生涯スポーツの振興にあたっては、子どもから高齢者まで市民のだれもが身近なところで日常的にスポーツ活動ができることが重要であると考えており、大阪市では1区1スポーツセンター、1温水プールの整備を行ってきました。そして、週1回以上のスポーツ実施率を早期に50%にすることを目標に、誰もが、いつでも、どこでもスポーツと触れ合う機会の提供などに取り組んでいます。スポーツを通じた社会参加はより広い範囲のコミュニティ活動やボランティア活動への参加の契機ともなります。「見るスポーツ」「するスポーツ」「支えるスポーツ」が一体となって、市民レベルから競技レベルに至るまでのスポーツ振興につながると考えています。大阪市では、公共施設でスポーツ教室を実施するほか、「市長杯スポーツ大会」を実施している。10月の体育の日には「市民スポーツの祭典」を開催し、多彩なスポーツイベントを実施しています。」と回答しました。



**スポーツセンターで汗を流す若者たちと**

右端の青年は19歳のスポーツコーチで、青少年育成に取り組んでおり、彼からコーチを受けた若者が今度は教える立場へと成長していきます。

## おわりに

今回の出張では、姉妹都市でもあるサンクト・ペテルブルグ市のほか、フロン市及びロンドン市を訪問し、友好親善を一層深めるとともに、非常に過密なスケジュールではありましたが、議会運営、集客観光施策、教育施策、都市再開発、福祉施策など多くの都市行政調査を行うことができました。

その主たる目的は、これらの市とのさらなる相互理解と友好親善を図ることはもちろんのことですが、各都市の議会運営や先駆的な事業の取り組みを実態調査し、共通する市政課題等について意見や情報の交換を行ったうえ、その成果を大阪に持ち帰って大阪市の今後の議会運営・行政運営に生かすことでした。

サンクト・ペテルブルグ市については、来年姉妹都市提携 30 周年を迎え、今後様々な交流事業が企画されていくことになるわけですが、今回の訪問は 30 周年事業の道筋をつけるという観点からも非常に意味のあるものだったと考えています。日本国総領事館の多大なるご協力をいただいたおかげもあって、副知事や市議会議長と貴重な意見交換をすることができまし、エルミタージュ美術館をはじめ、多くの文化施設を視察することができました。

フロン市については、今回の訪問が大阪市としても最初の公式訪問であり、その位置付けは重要であったと考えています。ワールド・リンク・ツリーを通じた両市の友好親善交流がますます促進されることを期待しています。自宅に招待していただくなどフロン市長とは個人的な親交も深めることができました。

なお、サンクト・ペテルブルグ市及びフロン市訪問は私にとっても初めてのことであります。両市とも北緯 60 度に位置することから冬季は気温がマイナス 20 度にもなると聞かされておりましたが、温暖化の影響もあってか想定外の暖かさであり、気温もマイナスになることがほとんどなく、日中はコートなしでも外出できるほどでありました。

ロンドン市については、市議会を訪問した日にちょうど来年度予算審議の本会議が開催されているという幸運にも恵まれ、貴重な経験と勉強をすることができました。また、自治体国際化協会ロンドン事務所のご協力のもとカードウェル小学校やニューハム区での先駆的な事業の取り組みについても調査研究することができ、たいへん有意義でありました。

今後は、今回の視察で得ることのできた知識や経験を、大阪市の行政運営や議会運営に是非生かしていかなければならないと考えております。

参考までに、今回訪問したサンクト・ペテルブルグ市、ロンドン市と大阪市の概要の比較表を掲載しておきます。



市政概要

	サンクト・ペテルブルグ市	ロンドン市	大阪市
人口	約 460 万人	約 732 万人	約 260 万人
面積	1, 439 km <sup>2</sup>	1, 579 km <sup>2</sup>	221. 30 km <sup>2</sup>
市のしくみ	モスクワ市と同様、州から独立した連邦直属の市であり、他の共和国、地方、州、自治州、自治管区とともに、ロシア連邦構成体のひとつである。サンクト・ペテルブルグの外側の地域をレニングラード州が管轄している。	基礎的自治体である 32 の区と シティ・オブ・ロンドンで構成され、その上に G L A が設置されている。ロンドン全域にわたる公共交通・地域開発・警察・消防等の分野の企画・調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政令指定都市</li> <li>・20 局 2 室、24 区役所</li> </ul>
財政（予算）規模	H19 年度予算（歳出） 1, 861 億ルーブル	H20 年度予算 114 億ポンド	H20 年度予算（一般会計） 1 兆 5, 925 億円

議会・議員関係

	サンクト・ペテルブルグ市	ロンドン市	大阪市
議員定数	50 人	25 人	89 人
選挙区	18 区	14 区（各選挙区は 2～4 の自治区から構成されている）	24 区
選挙方式	比例代表制（以前は小選挙区制）	市長選挙と同時に実施される直接選挙で選出される。市議会議員は、小選挙区から選出される 14 名の議員と、比例代表で選出される 11 名の議員からなる。	市民の直接選挙で 24 区からそれぞれ 2～6 人（各区の人口により異なる）が選出される。
議員 1 人当たりの人口	約 92, 000 人	約 293, 000 人	約 30, 000 人
報酬（年）	約 130 万円	約 1, 200 万円	約 1, 700 万円
任期	4 年	4 年	4 年

	サンクト・ペテルブルグ市	ロンドン市	大阪市
党派構成	統一ロシア党 23人 公正ロシア党 13人 共産党 9人 自由民主党 5人	労働党 7人 自由民主党 5人 保守党 9人 独立党 2人 緑の党 2人	自由民主党・市民クラブ 33人 公明党 20人 民主党・市民連合19人 日本共産党 16人 自民クラブ 1人
議会の開催状況	・本会議は、通常毎週1回水曜日に開催される。 午前10時～午後5時30分	・Plenary と呼ばれる本会議を年10回開催するほか、各議員が市長に対して様々な質問を口頭・書面で行う「市長への質問時間」という会議を年10回開催している。	・定例会：年4回 ①通常予算（1回） ②決算（2回） 公営・準公営 一般 ③その他の定例会 ・臨時会：適宜
議会の公開	公開	公開	公開
委員会	・常任委員会（7） ①都市計画・建設・国土利用委員会 ②産業振興・財産形成委員会 ③社会福祉委員会 ④健康・環境委員会 ⑤教育・文化・科学委員会 ⑥法務委員会 ⑦行政政策委員会 ・特別委員会（2） ①法令制定特別委員会 ②予算財務特別委員会	・常任委員会（11） ①監査・検査委員会 ②監察委員会 ③予算委員会 ④予算監視小委員会 ⑤ビジネス管理・任命委員会 ⑥経済開発・文化・スポーツ・観光委員会 ⑦環境委員会 ⑧保健・公共サービス委員会 ⑨計画・空間開発委員会 ⑩規範委員会 ⑪交通委員会 ・特別委員会（3） ①7.7再検討委員会 ②ロンドン自治体構造検討委員会 ③高齢者戦略検討委員会	・常任委員会（6） ①財政総務委員会 ②文教経済委員会 ③民生保健委員会 ④計画消防委員会 ⑤建設港湾委員会 ⑥交通水道委員会 ・特別委員会（3） ①市政改革特別委員会 ②大都市・税財政制度特別委員会 ③環境対策特別委員会 (注) 別途、決算特別委員会

最後になりましたが、今回の海外出張に際しまして、準備やお世話いただきました関係者の皆様に再度心から御礼申し上げ、海外出張報告とさせていただきます。